

○次のとおり追加する。

4. アブドルマリク・アル・ホーシー

ABDULMALIK AL-HOUTH

(肩 書 ) 不明

(生年月日 ) 不明

(出 生 地 ) 不明

(別 称) 不明

(国 籍) 不明

(旅券番号 ) 不明

(身分登録番号) 不明

(住 所) 不明

(リストへの掲載) 2015 年 4 月 14 日

(その他の情報) イエメンのホーシー派集団指導者。イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた。

(指定の根拠) アブドルマリク・アル・ホーシーは、安全保障理事会決議第 2140 号(2014 年)の 11 及び 15 の規定並びに安全保障理事会決議第 2216 号(2015 年)の 14 の規定に従い、2015 年 4 月 14 日に制裁対象に指定された。

アブドルマリク・アル・ホーシーは、イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた集団の指導者の一人である。

2014 年 9 月、ホーシー派部隊がサヌアを奪取し、2015 年 1 月、ホーシー派が支配する正統でない統治当局を通じて、イエメンの正統な政府を交代させようと一方的に試みた。アブドルマリク・アル・ホーシーは、兄フセイン・バドルッディーンの後 2004 年に、イエメンのホーシー派運動の指導的地位を担っている。ホーシー派の指導者として、アブドルマリク・アル・ホーシーは、自らの要求に応じない場合に更なる騒擾を引き起こすことでイエメン当局を繰り返し脅迫し、ハーディ大統領、首相、主要閣僚を拘留した。ハーディ大統領は、その後アデンに逃れた。ホーシー派は、サーレハ前大統領とその息子アフマド・アリー・サーレハに対して忠実な軍部隊の支援を得て、アデンに対する新たな攻勢に出た。

5. アフマド・アリー・アブドゥラー・サーレハ

AHMED ALI ABDULLAH SALEH

(肩 書 ) 不明

(生年月日 ) 不明

(出 生 地 ) 不明

(別 称) 不明

(国 籍) 不明

(旅券番号 ) 不明

(身分登録番号) 不明

(住 所) 不明

(リストへの掲載) 2015 年 4 月 14 日

(その他の情報) ホーシー派の軍事的拡大を促進する上で重要な役割を果たしている。イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与している。アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、イエメン共和国前大統領アリー・アブドッラー・サーレハの子息である。(指定の根拠) アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、安全保障理事会決議第 2140 号 (2014 年) の 11 及び 15 の規定並びに安全保障理事会決議第 2216 号 (2015 年) の 14 の規定に従い、2015 年 4 月 14 日に制裁対象に指定された。アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、イエメンの平和、安全又は安定を脅かす活動に関与してきた。

アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、ハーディ大統領の権威を弱体化させ、ハーディ大統領による軍改革の試みを妨害し、イエメンにおける平和的な民主主義への移行を妨げるために活動してきた。アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、ホーシー派の軍事的拡大の促進において重要な役割を果たした。2013 年 2 月中旬、アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、共和国警備隊の旅団及び身元不明の部族長らに数千丁のライフルを配給した。これらの武器は 2010 年に調達され、後日政治的利益を得るために、武器の受領者からの支持を取り付ける目的で用意された。

アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハの父、イエメン共和国前大統領アリー・アブドッラー・サーレハが 2011 年に大統領を辞任した後、アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、共和国警備隊司令官の地位に留まった。1 年と少し後、アフマド・アリー・アブドッラー・サーレハは、ハーディ大統領により解任されたが、解任された後もイエメン軍内に大きな影響力を有していた。

アリー・アブドッラー・サーレハは、2014 年 11 月に国連安全保障理事会決議第 2140 号の下で国連により指定された。